

令和5年度 南九州市立知覧中学校グランドデザイン

創立43周年

～ 一人ひとりが輝く知覧中学校 ～



< 県基本目標 >
「夢や希望を実現し未来を担う鹿児島の人づくり」

～あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり～

学校教育目標

ふるさとを愛し、未来をたくましく生き抜く力を持った知覧の生徒の育成

ふるさとを愛する生徒：ふるさとの伝統や文化を学び、それを大切にし、広く情報発信しようとする意欲や技能を持っている生徒
地域の一員として、感謝の気持ちを持って地域と関わり、地域に貢献できる生徒

未来をたくましく生き抜く力を持つ生徒：未知の事態に対し、自ら考え、判断し、行動できる力を持った生徒
多様な他者を理解し、協働して課題を解決していくことのできる生徒

校訓

自主

自ら考え、判断し、行動する生徒

友愛

他者を敬愛する心豊かな生徒

錬磨

健康で粘り強い生徒

知覧中の誇り：「礼を正し、場を清め、時を守る」
学校指針：「命の大切さを伝え続ける学校」

学校・家庭・地域での共通実践を通して ※人権教育を根幹に据えて

< 重点目標・課題・具体策：学習指導要領を踏まえて >

確かな学力の定着と向上

指導方法の工夫・改善（主体的・対話的で深い学びの確立）

家庭学習の習慣化（授業と家庭学習の連動）

1 研究テーマに基づく職員研修の充実

研究テーマ：
主体的に学びに向かう生徒の育成
～ICTの効果的な活用を通して～

- 2 学力検査等の実態把握と具体策の推進
- 3 授業と連動した家庭学習の内容の改善
- 4 良問の活用（授業・補充指導・個別指導、チャレンジタイム等）
- 5 ICTを活用した力をつく授業と効率化（学びのグレードアップ事業に係るタブレット端末の有効活用）
- 6 特別支援教育の視点に立った個の実態を踏まえた取組の充実

心に届く生徒指導の充実

いじめ問題の根絶に向けて（情報モラル教育の強化）

不登校生徒の解消を目指して（新規を出さない指導）

- 1 望ましい人間関係づくりを基盤とした学年・学級経営の充実
Q-Uによる実態把握と指導の充実
構成的グループエンカウンターの実施と推進（居場所づくり・絆づくりの工夫、全校面談の実施等）
- 2 いじめ問題、不登校（傾向）、問題行動等の早期発見・対応（特に情報モラル指導）
- 3 学校行事等の充実
自己肯定感や自己有用感の向上
- 4 生き方を学ぶキャリア教育
基礎的・汎用的能力における育てたい力の明確化と実践（キャリアパスポート活用）と読書指導（「夢広がる」の活用）
- 5 道徳教育の充実
年間計画に基づいた豊かな心を育てる道徳授業の工夫

たくましい体力・気力等の充実

体力の向上を目指して（運動量の確保と増）

気力等の充実を目指して（心身の健康と環境）

- 1 主体的・規律的に活動する体育授業の工夫（各学年・個人の体力の状況把握と具体的実践、チャレンジかごしま、学びのグレードアップ事業の実施）
- 2 主体的に活動する（みんなに愛される）部活動の工夫
年間指導計画の作成
練習計画の工夫
- 3 心の健康、性に関する指導の充実
- 4 食に関する指導（特に給食指導）と衛生管理（特に無言清掃）の徹底
- 5 交通・校内での安全教育の充実と危険予知能力の育成
（特に自転車通学生への指導の徹底、交通安全教室の充実、定期的なパトロールの実施、南九州警察署との連携）

開かれた教育課程に基づく教育活動の展開
< 学校教育目標の共有と情報発信、啓発、共通実践の工夫 >

小中連携しての取組の充実

< 家庭との連携 >

心の安息の場
人間関係づくりの基盤
家庭学習時間の確保
情報機器環境の整備
※ 情報モラルの向上

< 5 小学校との連携 > 小中連携の更なる推進

※ 小中合同研修会の充実
学力向上
不登校生徒の減少 共通課題の解決に向けた取組
家庭学習の習慣化

人間関係を構築する力の育成

家庭学習スタイルの確立

9年間を見通して、小中連携した指導の継続

< 地域との連携 >

発見の場 体験の場
貢献の場 交流の場
知覧の一員として
地域の学校として
人材・地域素材の有効活用

